

すべてのこどもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現

目次

- 1 福山市立学校の現状
- 2 学校教育の取組
- 3 コミュニティー・スクールの導入
- 4 生活習慣・給食
- 5 福山中・高等学校の取組
- 6 いいね！福山っ子プロジェクト

福山市教育委員会
教育長 小林巧平

福山市立学校の現状



◆ 児童・生徒数（2025年5月1日現在）

小学校 69校＋義務教育学校（前期）	2校	22,810人（対前年▲486人）
中学校 30校＋義務教育学校（後期）		11,243人（" ▲134人）
高等学校1校		592人（" ±0人）
合計 102校		34,645人（" ▲620人）

2025年度の学校教育の取組

①主体的・対話的で深い学び	②学びをつくる教職員研鑽
（新）学力向上プロジェクト ◆ 学力定着状況調査・問題データベースを活用した授業改善、個に応じた学び ○「学び」の探究パイロット校事業 ◆ 幼保小中接続カリキュラムの編成 ◆ ICT活用の目的・場面・方法を明確化 等	○ 学習指導要領に立ち返り 教材研究を中心に据えた研修 （新）◆ 県教委と連携した初任者研修 ◆ 市内一斉研修 ◆ 教科の専門性パワーアップ研修 ◆ 教職員ニュース研修 ◆ 福山教育フォーラム 等
③元気・笑顔で学び続ける教職員	④多様な学びの場の充実
○ 教職員がやりがいを実感する取組 ♥ 一斉・指定・任意研修等の継続・充実 ○ 教職員の負担軽減につながる取組 （新）◆ 統合型校務支援システムによる校務のデジタル化 ♥ 補助員等の配置	○ 特別支援教育 ◆ アセスメントに基づく指導支援 ○ 不登校支援プロジェクト （新）◆ メタバース・おやまの学校 ○ 外国人児童生徒等への支援 （新）◆ 日本語初期指導教室の開設
こどもの学びを支える教育環境の整備 ○ さまざまな学校環境の整備 ○ コミュニティー・スクールの導入	

主体的・対話的で深い学び

（新）学力向上プロジェクト

日々の授業におけるこどもたちの姿や、学力調査の分析結果などを活用し、こどものつまずきと学習内容の理解度を把握し、授業改善や個別の指導・支援の充実を図る。

◆ 学力定着状況調査

こどもたちの学習内容ごとの理解度を明らかにし、授業改善や個別の指導・支援の充実、学び直しの促進などを通じて学力の定着を図る。

〈対象教科〉	国語、算数・数学
〈対象児童生徒〉	小学校第4・5学年、中学校第1・2学年 義務教育学校4・5・7・8学年に在籍する児童生徒
〈実施時期〉	4月及び12月の年2回

◆ 問題データベース活用実践校

こどもたちの学習内容ごとの理解度から、個別の指導・支援の充実、学び直しの促進などを通じて、学力の定着を図る。

〈対象教科〉	算数・数学
--------	-------



主体的・対話的で深い学び

「学び」の探究パイロット校事業の推進

こどもと教材への理解を深める教材研究を土台として、こどもたちの学びを促すカリキュラムを編成・実施し、「学ぶ過程」の評価を工夫していく

パイロット校名	内容	校区数
①分析データを活用した授業改善実践校	学力調査の分析によるつまずきの把握・解消	2中学校区
②効果的なICT活用実践研究校	1人1台端末 教育DXの推進	1校
③地域とともにある学校づくり推進校	コミュニティ・スクールの取組の充実	1中学校区
④幼保小中学びの接続カリキュラム開発校	幼保小中連携の強化	5校
⑤アセスメントに基づく指導支援実践研究校	特別支援教育等の充実	6校



【データを基に協議する校内研修】



【ICTを活用した授業実践】

学びをつくる教職員研究

こども・教材への理解を深める研修 → 県との連携強化

(新)「学びの変革」推進研修

広島県の推進する「学びの変革」について、各学校の中核を担う教員を対象に研修

(新) 県教育委員会と合同で行う研修の拡充

- ・初任者研修 年4回 → 年10回に
- ・「こども主体の学びづくり」に関する研修を、「学力向上等に向けた授業づくり研修」に転換

教科の専門性パワーアップ研修

言葉と数が全ての教科の基盤であることを踏まえ、学習指導要領に立ち返りながら、教材研究、授業実践・検証・改善することを通して、こども・教材への理解を深め、授業実践力を高める。

- ・国語科、社会科、数学科、理科について、外部講師の知見を活かした教材研究や授業実践を行う。



【教職員が協議をしている場面】

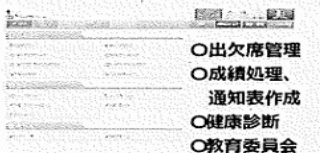


【受講者による授業提案】

元気・笑顔で学び続ける教職員

教職員の負担軽減につながる取組 ～デジタル化の推進～

(新) 統合型校務支援システム



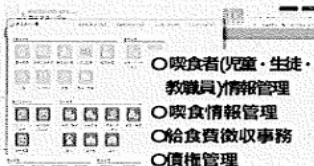
- 出欠管理
- 成績処理、通知表作成
- 健康診断
- 教育委員会報告資料作成

教職員の事務
作業負担の軽減

児童生徒に関わ
る時間の増加



(新) 徴収金等システム (給食費の公会計化)



- 喫食者(児童・生徒・教職員)情報管理
- 喫食情報管理
- 給食費徴収事務
- 債権管理

保護者ポータルサイト
「つばさ」

保護者が給食費の振替情報をスマートフォン上で確認できる

次の給食費の引き落としは7月28日ね!



(新) 連絡アプリ 「すぐーる」



学校からの連絡をスマートフォンで受け取れる

明日は臨時休校か



多様な学びの場の充実

不登校児童生徒への支援

学校内外の専門機関に繋がる取組の充実

不登校支援チーム

市教委の不登校支援チームが、どこにも繋がっていない児童生徒と繋がるため直接アプローチ

(新) メタバース支援

インターネット上の仮想空間で、アバター(分身)を使い、興味のあることを中心に学び、スタッフや他の利用者につながる

(新) フリースクール「おやまの学校」

山野地域の豊かな自然環境を生かした体験活動や地域の方々とふれあいを通して、学ぶ意欲を発揮できるようにする



校内フリースクール
「きらりルーム」

校外フリースクール
「かがやき」

2024 (R6) 3月末
小学校: 21校
中学校: 28校
義務教育学校: 1校



【個別学習スペース】 【会話スペース】



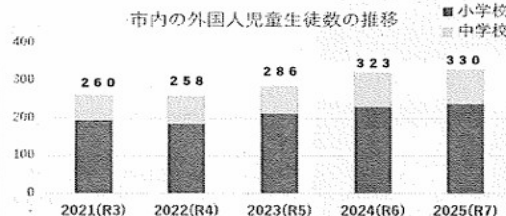
多様な学びの場の充実

(新) 日本語初期指導教室の開設 (旧郷分幼稚園)

日本語力が不足している児童生徒が、日本での学校生活に適応し、授業が理解できるようにしていくための初期段階の語学指導を行う。

【現状】
・日本語指導が必要な児童生徒のための「日本語指導カリキュラム」や「日本語能力の把握方法」がないため、人数などの実態が把握できていない。
・市立学校での日本語指導では、文字練習で言葉の意味理解がなぞったり、書き写したりするだけの活動になっている実態がある。
⇒ 初期指導を必要とする児童生徒が小・中学校に滞在している。

◆ 初期指導教室児童生徒数 (2025年度想定)



- ・1日3～4時間の初期指導を1～2カ月間実施
- ・学校生活に必要な最低限の日本語の習得
- ・教科につながる初歩的な学習
- ・福山市が作成したカリキュラムに基づく教材作成
- ・在籍校と連携し本市の日本語指導について状況把握
- ・日本語指導担当等へ日本語指導に関する研修の実施
- ・必要に応じて在籍校への助言や児童生徒にフォロー

こどもの学びを支える教育環境の整備

望ましい学校教育環境の整備

協議中



■ 福山市学校教育環境検討委員会 附属機関

「本市がめざす学びを実現する学校教育環境の在り方」について審議

(諮問事項)

- 1 これまでの取組を踏まえた今後の学校再編の在り方について
- 2 新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について
- 3 学校と家庭・地域、企業等が協働した学校運営の在り方について



▼ 答申

福山市教育委員会

検討委員会の答申を踏まえ、「小中一貫教育と学校教育環境に関する基本方針」に続く新たな基本方針の策定

【開催】

2025年(令和7年)3月～
※月1回程度(同年9月ごろまで)

【委員】

19人(学識経験者、地域・PTA・学校の代表者、就学前児童の保護者、市民(公募))



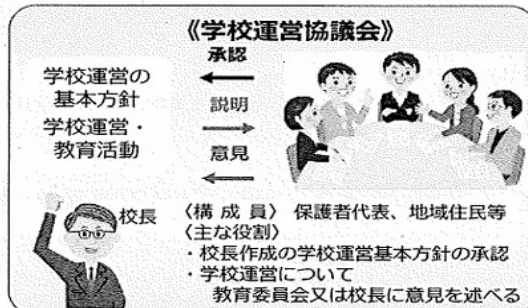
こどもの学びを支える教育環境の整備

コミュニティ・スクールの導入

◆ 学校運営協議会の設置

学校運営や学校の課題に対して、
広く保護者や地域の皆さんが参画できる仕組み

2026年度
までに
全中学校区
導入予定



こどもの学びを支える教育環境の整備

コミュニティ・スクールの導入

2026年度
までに
全中学校区
導入予定

2022～2024年度の導入校【19校】

鞆の浦学園、想青学園
広瀬学園小・中学校
常石ともに学園、加茂中学校区、
新市中央中学校区、幸千中学校区、
神辺西中学校区、福山中・高等学校



100歳体操(御幸小)



ポンプ場見学(千田小)

2025年度の導入校【24校】

東中学校区、城北中学校区、鷹取中学校区、
鳳中学校区、精華中学校区、城西中学校区、
神辺東中学校区



小学校で読み聞かせ(幸千中)

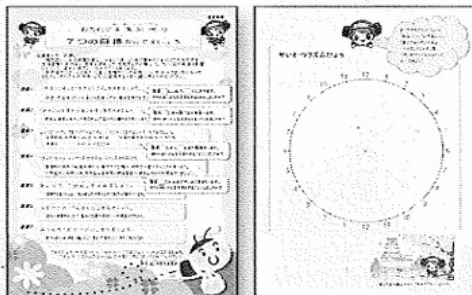
2026年度の導入予定校【59校】

こどもの学びを支える教育環境の整備
生活習慣・給食

☆ **新** 保護者とともに取り組む「生活習慣の7つの目標」

- ◆生活習慣定着のための「5つの時間ルール」
就寝・起床・朝食・家庭学習・情報機器の使用

- ◆家庭学習の充実
低・中学年（30分～60分）／高学年（60分～90分）
中学生（90分～120分）

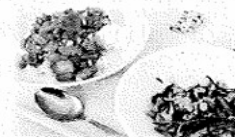


13

こどもの学びを支える教育環境の整備
生活習慣・給食

☆ 物価高騰の中でも「安心・安全でおいしい給食を」

- ◆学校給食は「生きた教材」
・栄養バランスを考えた献立
・徹底した衛生管理
・個に応じたアレルギー対応



- ◆物価高騰への対応
・食材の調達と選定
・献立の工夫
・調理方法の工夫



- ◆生きた教材としての食育
・地元食材の活用
・郷土料理や行事食の提供
・生産者との交流給食の実施



	小学校 55円		公費負担
	中学校 60円		
給食費	小学校 255円	保護者負担	
	中学校 290円		

14

中高一貫で育む「知」「徳」「体」
福山中・高等学校の取組

キャッチフレーズ
i.dream



☆ 特色ある教育活動

- ◆探究学習
 - ・My探究（百人百探） ・夢プロ
 - 一人一人が興味関心に応じて課題を発見し、解決に向けて計画実践 自分の夢とSDGsをリンクさせ課題を設定し、解決に向けて行動
- ◆グローバル教育
 - ・海外提携校等との交流（韓国浦項市 大東中学校・浦項高校など）
 - ・海外語学研修（オーストラリア・フィリピン）
 - ・グローバル人材育成事業
 - 市内企業等と連携した地域課題・国際的な課題などの探究&解決
- ◆キャリア教育
 - ・市内各地の企業での訪問体験学習
- ◆部活動
 - 目標を設定、練習計画を作成し、仲間と切磋琢磨しながら活動



15

いいね！福山っ子プロジェクト

優れた成果や他の模範となる取組にとどまることなく、その過程や見過ごしてしまっているちょっとしたいい行いなどに着目し、3つの部門で表彰することを通して、みんなを勇気づけ元気にする。

福山学校
元氣大賞を
リニューアル！

- ◆いいね！福山っ子
児童生徒が社会や誰かのために主体的に貢献した活動など
- ◆ありがとう！先生
児童生徒の育成に気や元気を引き出した教職員の言葉や取組など
- ◆大好き！ふるさと
児童生徒の育成に向け、学校と地域が一体となった取組や地域の方の協力など



いいね！福山っ子
（駅家南中）



16